

堤体下流面の漏水について

平成29年12月5日

独立行政法人水資源機構
池田総合管理所

1. 堤体下流面の漏水状況(H27年度漏水対策実施後)

1. 対策工を実施した水平打継面

- ・堤体下流面において、水平打継面を通じた漏水が確認された箇所(左岸-1、左岸-2、左岸-3、左岸-5、左岸-7、左岸-8の計6面を対象に、堤頂から機械ボーリング後、超微粒子セメント等注入による対策工を、平成27年12月から平成28年1月に実施した。

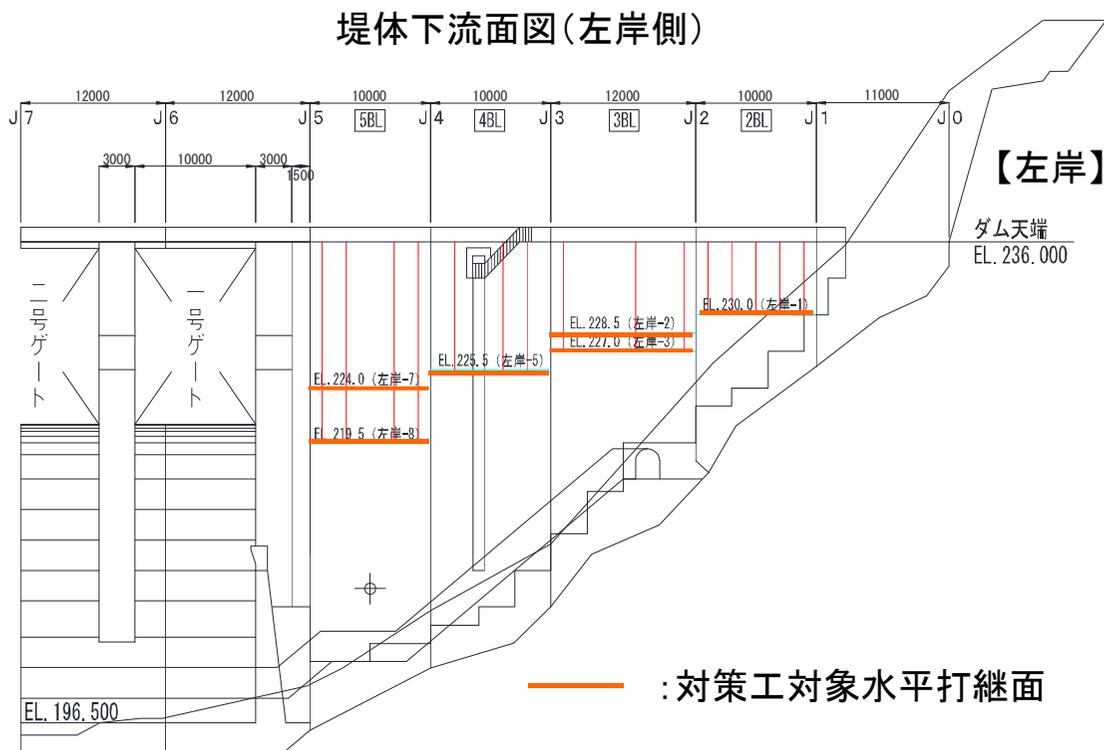


図1 対策工対象水平打継面

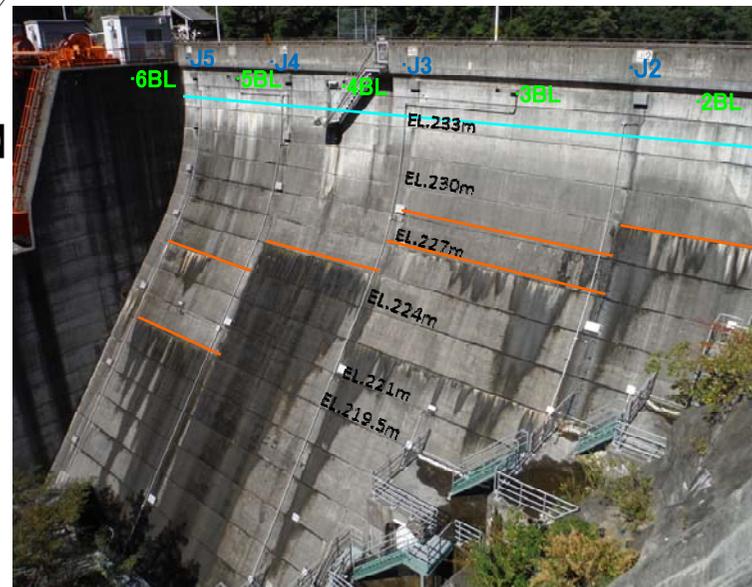


写真1 対策前の堤体下流面漏水状況
(左岸側BL2~5)

平成26年10月16日 貯水位EL.233.73m (9:00)

2. 漏水対策工後の下流面漏水状況【1／2】

1. 対策工後の堤体下流面観察状況



対策前 H26年10月16日 貯水位EL.233.73m (9:00)
: 対策工対象水平打継面



対策9ヶ月後、H28年10月20日 貯水位EL.229.06m (9:00)



対策21ヶ月後、H29年10月26日 貯水位EL.233.14m (9:00)

- ・同時期で貯水位が高いものが記録されていた10月期の記録で見たと、対策後も対策対象の全ての箇所、堤体下流面からの漏水のしみ出しが見られる。

2. 漏水対策工後の下流面漏水状況【2/2】

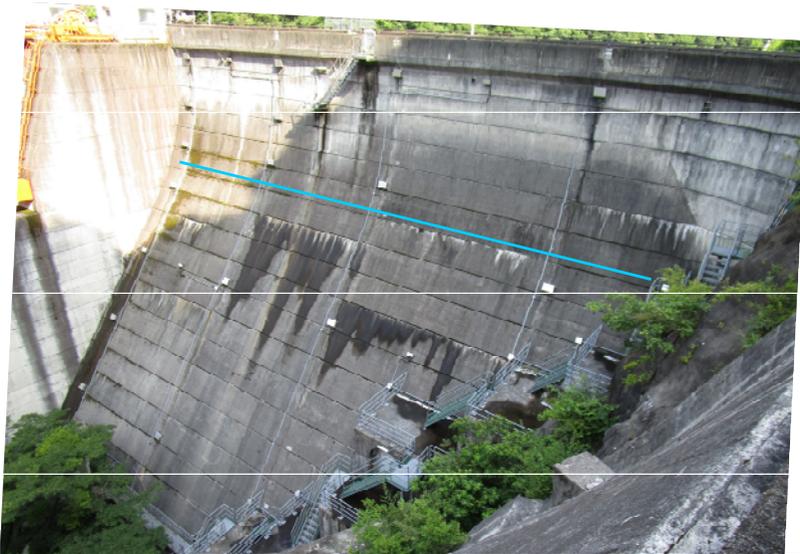
1. 対策工後の堤体下流面観察状況



対策前 H25年7月11日 貯水位EL.227.37m (9:00)
: 対策工対象水平打継面



対策6ヶ月後、H28年7月14日 貯水位EL.226.92m (9:00)



対策18ヶ月後、H29年7月13日 貯水位EL.227.37m (9:00)

・対策後18ヶ月の夏季に、広範囲から堤体下流面の漏水の滲み出しが見られる。